

令和6.1.19実施

精華女子高等学校 専願入学試験問題

国 語

看護科

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 字数指定の問題については、句読点・記号などあれば、字数に含みます。

受験番号	氏名
番	

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「世間」というのは、あなたと、現在または将来、関係のある人達のことです。

具体的には、学校のクラスメイトや塾で会おう友達、地域のサークルの人や親しい近所の人達が、あなたにとつて「世間」です。

「世間」の反対語は、「社会」です。

「社会」というのは、あなたと、現在または将来、なんの関係もない人達のことです。例えば、道ですれ違った人とか、電車で隣に座っている人とか、初めていくコンビニのバイトの人、隣の学校の生徒などです。

日本は「世間」と「社会」という、二つの世界によって成り立っているのです。

具体的にどういうことか、説明しましょう。

あなたはおばさん達の団体旅行とかに出会ったことはありませんか？

昔、僕が車で電車を待っていた時のことです。

周りにおばさん達が何人かいました。

電車がホームに入ってきて、ドアが開くと、僕の前にいたおばさんが駆け込みました。

そして、四人掛けのシートの前に立って、僕の後ろに向かって声をかけました。

①「鈴木さん！ 山田さん！ ここ、ここ！」

後から来たおばさん達は、その声に従って、僕を追い越して当然のようにシートに座りました。

僕ともう一人の乗客は、おばさんにブロックされて、シートに座れませんでした。

一般的なルールでは、乗ってきた順番にシートに座るはず②です。でも、このおばさん

は、僕達を無視して、後ろの仲間を呼んだのです。

③どうです。こんなコウ景、見たことないですか？

僕を無視したおばさんは、冷たい人でしょうか？ そうじゃない、ということをおばさんは分かるでしょう。

このおばさんは、おばさんを知る人達の間では、おそらく、世話好きで面倒見がいいと思われているはず④です。

おばさんは、自分に関係のある人達を大切にしているのです。

「世間」は、自分と関係のある人達のことだと書ききました。

つまり、このおばさんは、自分の「世間」を大切にしているのです。

そして、次に乗ってきた僕ともう一人の乗客は、自分と関係のない「社会」の人なのです。だから、簡単に無視できるのです。

日本人は、基本的に「世間」に生きています。

自分に関係のある人達をとて大切にします。けれど、自分に関係のない「社会」に生きる人達は、無視して平気なのです。

それは、冷たいとかいじわるとかではなく、生きる世界が違うと思っっているからです。あなたも、街で知り合いに会うと、気兼ねなく声をかけるでしょう。

「世間」に生きてる人とは、普通に話せます。

でも、知らない人にはなかなか声をかけられないはず⑤です。それは、「社会」に生きる人だからです。

⑥『cool japan』に出演しているブラジル人が、ある日、僕に言いました。

「日本人は本当に優しい人達だと思う。3・11の東日本大震災⑦の時、みんなが助け合っていた。私の国だったら、コンビニが襲われたり、交通が乱れてパニックになっていただろう。でも、日本人は、そんなことはなかった。素晴らしい」

ところが、数日後、彼は戸惑った顔をして僕に言いました。

「今日、ベビーカーを抱えた女性が、駅の階段を上がろうとしていた。彼女は、ふう言う言いながら、ベビーカーを抱えていた。信じられない。私の国なら、すぐに彼女を助けて、ベビーカーを代わりに持ってあげるだろう。どうして日本人は彼女を助けないのか？ 日本人は優しい人達じゃなかったのか？」

⑧どうして助けないのか、日本人のあなたなら、その理由は分かるでしょう。

日本人は冷たいからか？ 違いますよね。

ベビーカーを抱えている女性は、あなたにとつて X だからですよ。

つまり、あなたと関係ない人だから、あなたは手を貸さないので。いえ、貸せないと言ってもいいです。他人には声をかけにくいのです。

もし、その女性が、あなたの知っている人なら、あなたは間違いなく、すぐに助けたでしょう。

冷たいとか冷たくないとか、関係ないので。

私達日本人は、自分と関係のある「世間」の人達とは簡単に交流するけれど、自分と関係のない「社会」の人達とは、なるべく関わらないようにしているのです。

⑨というか、より正確に言えば、関わり方が分からないのです。

この本を読んでいるあなたの周りには、「世間」と「社会」という2種類の世界があるのです。

あなたはふだん、学校や塾、近所の知り合いの人達という「世間」に生きているはず。そして、道や駅やお店で会った「社会」に生きる知らない人と長く深く話し込む。機カイは、あまりないと思います。

それが、^④平均的な日本人です。

(鴻上尚史『空気』を読んでも従わない——生き苦しさからラクになる)

(注) cool japan……筆者が出演しているテレビ番組。

問一 —— 線 a ~ c と同じ漢字を含むものを次のア ~ エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。また、その漢字を書きなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----------|---|----------|---|-----------|---|-------------|
| a | コウ景 | ア | 映画がコウ開される | イ | 観コウ客が多い | ウ | 親コウを深める | エ | 天コウが良くなる |
| b | 震サイ | ア | 彼は将棋の天サイだ | イ | 実サイにあつた話 | ウ | 事件の詳サイを知る | エ | 火サイに遭う |
| c | 機カイ | ア | 舞踏カイに行く | イ | 自然カイのおきて | ウ | 愉カイな仲間 | エ | 自分の行動を後カイする |

問二 —— 線①「鈴木さん！ 山田さん！ ここ、ここ！」とありますが、このときのおばさんの心情として最も適当なものを次のア ~ エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 二人のために席を取ってあげたい。
- イ 私たちのグループを優先してほしい。
- ウ 間にいる人を排除してほしい。
- エ みんな平等に座れるようにしたい。

問三 —— 線②「でも、このおばさんは、僕達を無視して、後ろの仲間を呼んだのです」とありますが、筆者はこのことをどのように説明していますか。最も適当なものを次のア ~ エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人は「社会」に生きており、自分に直接関係のない人とも関わりを持って生きている。そのため、この女性は、筆者ともう一人の乗客が自分達に席を譲るだろうと考えた。
- イ 日本人は「世間」に生きており、自分に関係のある人達を大切にする傾向がある。そのため、この女性は、仲間のために筆者たちを差しおいても席を確保しようと考えた。
- ウ 日本人は「世間」に生きており、自分に関係のある人達を大切にする傾向がある。筆者ともう一人の乗客は、この女性の「世間」に含まれていないため意識されなかった。
- エ 日本人は「社会」に生きており、自分に直接関係のない人とも関わりを持って生きている。この女性は、筆者ともう一人の乗客との関わりを断つことで、仲間を優先しようとした。

問四 —— 線③「彼は戸惑った顔をして」とありますが、彼は何に戸惑ったのか。四十字程度で説明しなさい。

問五 —— X に当てはまる語句を本文中から九字で抜き出しなさい。

問六 —— 線④「平均的な日本人」の特徴について、筆者が説明している部分を本文中から二文で抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問七 次に示すのは、三人の中学生が本文および【資料】(本文とは別箇所の文章)を読んで話し合った場面です。会話文を読んで、I～VIのうち、筆者の意見に合うものには○、合わないものには×を答えなさい。

【資料】

驚くことに、ほとんどの外国には、「世間」はありません。「世間」は、とても日本的なのです。

欧米をはじめとしたほとんどの外国は、「社会」しかありません。

つまり、自分が知っている人達と知らない人達を分けられないのです。

エレベーターに乗ると、日本人は、全員が沈黙したまま、決して目を合わせず、じっとドアの上に表示された階数の数字を見つめています。

僕もあなたもそうします。

お互いが他人で「社会」に住む人達だから、会話できないのです。会話するつもりもないと言ってもいいし、エレベーターの中でどんなふうに話しかけたらいいかわからないと言ってもいいでしょう。

欧米では、エレベーターの中で、必ず、目礼か会釈か会話が始まります。

知らない者同士が会話することが当たり前前の「社会」に生きているからです。エレベーターのような狭い空間で、とても近い所に人が立っているのに、黙っている方が不自然に感じるので。

彼ら・彼女らは、日本に来て、全員が斜め上を向いたまま沈黙しているエレベーターを経験して、驚くのです。

また、欧米では、デパートやお店でドアを開けて入る人は、必ず後ろを見て、後から入ってくる人がいるかどうか確認します。

そして、すぐ後ろに続いて入ってくる人がいると、ドアを軽く手で支えて、次の人が入りやすいようにします。

その後ろの人もまた、後に続く人がいたら、同じことをします。

「社会」に生きているので、後に続く「社会」の人を意識しているのです。

日本だと、こんなことをする人はめったにいません。

後に続く人は「社会」の人なので、無視していい人達なのです。もちろん、後ろから同じ「世間」に住む仲間が続いていたら、ドアを手で支えて、入りやすくします。

「世間」に住む人だから、当然なのです。

海外に行くと、このドアのちよつとした心配りに感動します。

生徒Aさん——あまり意識していなかったけど、僕たち日本人は「世間」というものの中で生きていたんだね。^I

生徒Bさん——筆者は欧米における「社会」のあり方について【資料】のような文章を書いているよ。そこにはほとんどの外国人は日本人と違って「社会」の方を強く意識していると書いてあるね。^{II}

生徒Aさん——僕もバスでおばあさんが立っているのに気づいたんだけど席を譲れなかったんだよね。それは僕がおばあさんを「社会」の人だと思っていたからだよ。^{III}

生徒Cさん——「社会」の人との関わり方が分からなかったから、おばあさんに席を譲れなかったんだね。^{IV}

生徒Bさん——世間的な考え方はやめなきゃいけないね。もつと周りに目を向けていくような取り組みをしていくべきだよ。^V

生徒Cさん——これからは日本人も「社会」で生きていくべきだと思うよ。^{VI}

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

東京にある名門美術大学の油画科・森本研究室に所属する美大生たちは、卒業制作に取り組んでいる。地方出身で天才的な画風の望音は、美大生としての自身に迷いをもつ太郎が大学を辞めるつもりだと聞き、「十分頑張った、とか言うな！」と言って研究室を出て行った。

望音は食堂の前のベンチに一人で座っていた。太郎は黙って近づき、自販機で買った紙パックのジュースを差し出す。

「……すみません、偉そうなこと言って」と望音は小さく頭を下げた。

「いいよ」

「ほんとに、辞めるんですか」

「うん」

望音は遠慮がちに、作業着を握りしめながら言う。

「うちもつと太郎さんと一緒に頑張ってたかった。同じアトリエで、最後まで絵を描いてたかった。卒業制作も、太郎さんにいろいろ見てほしかった。なのに……ほんまに諦めてしまうて、後悔せんのか？」

テラス席に座っている学生のグループが、ちらちらと見てくる。そのうち一人は飲み会で同席したことのある後輩だった。

「俺さ、この一ヶ月ずっと自分を見つめ直してたんだ。それで気づいたんだけど、あの壁にグラフィティをかけたとき、久しぶりに内面から湧いてくる感動みたいなものを体験できたんだよ。ああ、俺って、みんなここで青春を過ごしたんだなって。たぶん俺には、周囲と競争して一握りのプロの席を奪い合うよりも、俺らしく、誰かと協力して好きなことをする方が大事なんだ。でもそれって残念ながら、森本先生が目指している答えとは違うし、いわゆる『アーティスト』として食べていく才能もないんだと思う。内定も取り消されちゃったし、けじめをつけるためにも退学しようって、自分で決めたんだ」

しばらく黙って話を聞いていた望音は、「これからどうするんじや」と訊ねた。

「まだ決まっていけないけど、事件のあと、昔の仲間が訪ねて来てくれてさ。知らなかったんだけど、そいつは別の美大に入って、アートの文脈でグラフィティを実践しようとしているみたいで、もしよかったらまた一緒にやらないかって誘われた。またやるかは

分からないけど、今までやってきたことは無駄じゃない気がする」

「……そっか、うまくいくとええなあ」

① 望音はやつと太郎を見て、ほほ笑んだ。

「ありがとう。でもさ、望音も俺と同じで、他人の評価には縛られたくないタイプだと思ってるんだけど、どうしてそんなに頑張れるの？ 卒業したあと、大学院で森本研究室に残るわけじゃないんだろ」

つぎにいつ望音と話せるか分からないので、太郎は聞いておきたかった。

望音は迷うように、手に持っていた紙パックのジュースに視線を落としたり。

「じつはうち、ロイヤル・アカデミーの先生から、大学院に誘われとるんじや」

「ロイヤル・アカデミーって、イギリスの？」

前期がはじまった頃、アトリエにロイヤルアカの大学院生が見学に来ていたという話を太郎は思い出す。

望音は肯く。

「でも正直、まだ迷ってる。家族にもまだ言ってなくて——」

三月上旬、YPPの審査員をつとめたロイヤル・アカデミーの教授から、望音は一通のメールを受け取った。望音は誘われるままに、春休みとYPPの賞金を利用して、ロンドンを訪れた。

王立芸術院、英名でロイヤル・アカデミー・オブ・アーツは古めかしくて歴史を感じさせる外観でありながら、開放的で明るい雰囲気だった。美術館には豊富なコレクションの一部が無料で公開され、毎年名だたる現代アーティストも参加する「夏季展覧会」は、ロンドンの夏の風物詩として有名ならしい。

さらに美術館の奥には、個性的な服装の若者たちが制作している建物があった。

印象に残ったのは、付属の小さなスペースで展示されていた学生たちの作品である。

どれも素晴らしい絵ばかりで、望音は圧倒された。絵だけではなく立体やインスタレーションなど、ジャンルに囚われずに自由な発想で展開されていた。

教授から大学院生を紹介され、アカデミー内を案内してもらいながら、彼らがしっかりと自作を説明し、確固たるビジョンを持って制作をしていることに驚かされた。

——で、あなたはここで、どんな絵を描きたいの？

② そう訊ねられ、望音はろくに答えられなかった。

その理由は、英語だったからだけではない。

望音はロンドンの喧騒(けんそう)を行き先も決めずに彷徨(さまよ)った。明るい未来がこの街に広がっているはずなのに、頭のなかを不安が塗りつぶす。離島出身で美術のことも日本のことにも知らなくて、東京でだって精一杯なのに、さまざまな人種や言語の行き交う、当たり前になり自己主張を求められる大都会で、本当に自分はやっていけるのか。

とりあえず語学が留学の必要条件だったので、帰国後は参考書やオンライン英会話で勉強したけれど、根本的な迷いは消えなかった。覚悟がいまだに決まらないまま、また誰にも打ち明けられないまま、ここまで来てしまっていた。

最初に描いた島の絵が却下されたのも、今ふり返れば、その誘いによる迷いや焦りが邪魔をしたからだ。

「この美大にきたのも、本当はうちの意志じゃなかったんよ。うちはただ、絵が描ければそれでいいっていう気持ちがあつて。それは島にいても、東京にいても、どこにいても同じじゃ。だったら、わざわざ海外に行く必要なんてない気もして——」

「なに言ってるの？」

いきなり太郎に一喝(いっかく)されて、望音は顔を上げた。

「ロイアカだよ？ マジですごいじゃん！ 俺、望音が海外に行つて勉強したあと、どんな絵を描くのか、めっちゃくちゃ見てみたいよ」

「見てみたい？」

③ 望音は目をぱちぱちさせながら太郎を見る。

「そう、たぶん俺だけじゃないよ。ゼミ(ゼミ)のみんなだって、荒川さんとか他科のみんなも、今の話を聞いたたら、望音の絵がどんな風になるか知りたいって答えると思うよ。望音だって見てみたいと思わないの？ 海外に身を置くことで『自分の絵』がどんな風に変わっていくのか」

そう言われて、はじめて望音は思い出す。

絵は自分にとって「見たい世界」を描くものだった。

でもいつのまにか、熟知した世界ばかり描くようになっていた。描くことは冒険であり旅のはずなのに、安心するために、自分を守るために、自分の殻(から)に籠城(ろうじょう)してただただ描きやすいものばかり選んでいた。

この美大に来てから、とくに森本ゼミに入ってから、少しずつ島にいた頃の自分には描けなかったものも描けるようになったのに、あの卒業制作のプランは、それ以前の自分の自己模倣(みまも)でしかなかった。

もう島から出て行かなくちゃ。

もつと広くて未知の世界に足を踏み入れなくちゃ。

望音さ、と太郎は天を仰いだ。

「へこんでる場合じゃないよ。目の前に広がってる可能性に比べたら、どれもちっけなことじゃん。望音が本当にいいと思う絵を描いていけば、望音が望音じゃなくなるわけじゃないよ。だって望音には、才能があるもん」

太郎は自分の言葉に納得したようににつづける。

「うん、才能だよ。運や努力も関係するんだらうけど、生まれつき途方もない才能があるやつって、世の中にはごく稀(まれ)にいると思うんだ。そういうやつは放っておいても、回り道しても、いつか絶対に花ひらく。まわりには想像もつかなかったような、大輪(おほりん)の花を咲かせるんだよ」

才能という、実体のない言葉が望音にはずっと苦手だった。

母をはじめ周囲の口から出るたび、びんと来なくて信じられなかった。

自分に才能があるのかどうかは分からない。でもこうして誰かに才能があると信じてもらうことが、こんなにも勇氣になるのだと望音ははじめて知った。太郎の言葉が、強力なおまじじいのように望音に勇氣を与える。その勇氣が指先に伝わり、絵を描きたいという気持ちが広がっていく。

「俺さ、望音が咲かせるその花を、いつか見られるのを今から楽しみにしてるんだ。

だってその花は本人への贈り物なだけじゃなくて、結果的にはまわりへの贈り物でもあって、他の大勢の人の心に必ず残るものだから」

太郎は絵画棟を見上げながら言った。

⑤ 「太郎さん、ありがと」

太郎と別れたあとアトリエに戻りながら、望音は不思議と痛みと耳鳴りが消えたような気がした。

(一色さゆり『ピカソになれない私たち』)

(注1) アトリエ……芸術家が仕事を行うための専用の作業場のこと

(注2) グラフィティ……主にスプレーを用いて、電車の車両や高架下の壁など、公共の場に描かれる文字及び絵のこと

(注3) 事件……太郎があるビルにグラフィティを描くために不法侵入し、警察に逮捕されたこと

(注4) アートの文脈……芸術の分野

(注5) ロイヤル・アカデミー(オブ・アーツ)……イギリス・ロンドンにある美術家の団体、国立美術学校。

(注6) YPP……ヤング・ペインター・プライズ。若手画家賞

(注7) インスタレーション……展示空間を含めて作品とみなす手法

(注8) 喧騒……人声や物音で騒がしいこと

(注9) ゼミ……ゼミナール。研究室。担当教員の指導のもと、学生たちが自分たちでより深く実践的にアプローチしていく授業のこと

問一 くく線 i 「はじめをつける」・ii 「ぴんと来なくて」の意味として最も適当なものを次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|--------------|----------|-----------|----------|---------|
| i 「はじめをつける」 | ア 借りを返す | イ あきらめる | ウ 逃げ出す | エ 責任をとる |
| ii 「ぴんと来なくて」 | ア 物足りなくて | イ 心に響かなくて | ウ がっかりして | エ 情けなくて |

問二 〓線 「描くことは冒険であり旅」に用いられている表現技法として適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ア 比喩法 | イ 倒置法 | ウ 擬人法 | エ 対句法 |
|-------|-------|-------|-------|

問三 〓線① 「望音はやっと太郎を見て、ほほ笑んだ」とありますが、この時の望音の心情の説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 太郎がもう一度自分が納得のできる絵を追求すると決めたことに、感動している。

イ 太郎が自分の画力ではプロとして成功することは難しいと思いついでいることに、苦笑いしている。

ウ 太郎が美術の道をあきらめると思い込んでいたが、そうではないことを知り、少し安心している。

エ 太郎が退学することに後悔はないと断言しているその姿を、うらやましく感じている。

問四 〓線② 「望音はろくに答えられなかった」とありますが、その理由を説明した次の文章の空欄（Ⅰ）・（Ⅱ）にあてはまる語句を、それぞれ（Ⅰ）は

八字、（Ⅱ）は二字で本文中から抜き出して答えなさい。

英語でのやりとりということもあるが、ロイヤル・アカデミーの学生と違って、自分は（Ⅰ）（Ⅱ）を持っておらず、留学することへの（Ⅱ）（Ⅰ）が決まっていなかったから。

問五 〓線③ 「望音は目をぱちぱちさせながら」とありますが、これは望音のどのような様子を表していますか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 太郎から大声でしかられて、おびえている様子。

イ 太郎がロイヤル・アカデミーを知っていたことに、驚いている様子。

ウ もしロイヤル・アカデミーに入学できなかったらと、不安に思う様子。

エ 太郎の反応が予想もなかったもので、戸惑っている様子。

問六

——線④「大輪の花を咲かせるんだよ」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 「大輪の花」とは、何を意味しますか。本文中から七字で抜き出して答えなさい。
- (2) なぜ太郎は望音が「大輪の花を咲かせる」ことを期待しているのですか。その理由となる一文を本文中から抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問七

——線⑤「太郎さん、ありがと」とありますが、望音がそう言った理由として適当でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 太郎の言葉で自分がどんな絵を描きたいか明確に説明できるようになったから。
- イ 太郎が自分の才能を信じてくれて自分に勇気を与えてくれたから。
- ウ 太郎の誠実な態度も前向きな気持ちになれたことに関わっているから。
- エ 太郎のおかげでより広い未知の世界に足を踏み入れる気持ちになったから。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

天帝釈（仏法の守護神）は、猿、狐、兔の三匹が善行を積もうと修行に励んでいることを知り、三匹の本心を試すために衰弱した翁（老人）に変身し、三匹に食べ物を求めた。翁のために猿と狐は食べ物を集めて来たが、兔は取ってこることができなかった。

（兔は）翁のもとに行きて言はく、「今、我、出でて甘美の物を求め奉らむとす。言ふことには 今度こそ 美味しいもの 差し上げよう

木を拾ひて、焼きて待ち給へ。」と。しからは、猿は木を拾ひて来たりぬ。狐は火を取りて来たりて焚きつけて、もしやと待つほどに、兔、持つ物なくして来たり。

そのときに、猿・狐、これを見て言はく、「なんぢ何物をか持て来たるらむ。これ、

思ひつることなり。虚言をもつて人を謀りて、木を拾はせ火を焚かせて、なんぢ思つた通りだ 嘘

火を温まむとて、あな憎と言へば、兔、「我、食物を求めて持て来たるに力なし。温まろう 憎らしいやつめ

されば、ただ我が身を焼きて食らひ給ふべし」と言ひて、火の中に躍り入りて焼け死にぬ。

そのときに、天帝釈、もとの形に復して、この兔の火に入りたる形を月の中に移し

て、あまねく一切の衆生に見しめむがために、月の中に籠め給ひつ。広く命あるものの全てに見せようとする

しかれば、 X の面に雲のやうなる物の有るは、この兔の火に焼けたる煙なり。

また、 X の中に兔の有るといふは、この兔の形なり。よろづの人、 X を

見むごとにこの兔のこと思ひ出づべし。

（『今昔物語集』）

問一 〳〵線「言はく」には歴史的かなづかいが含まれています。現代かなづかに直してすべてひらがなで答えなさい。

問二 〳〵線①「これ」が指す内容を、解答欄の形式に合うように十字以内で答えなさい。

兔が（ ）こと。

問三 〳〵線②「あな憎」とありますが、猿と狐がこのように思った理由として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 兔が猿と狐をおどして自分の代わりに働かせようとしていると思ったから。
- イ 兔が猿と狐をだまして自分たちを苦しめようとしていると思ったから。
- ウ 兔が猿と狐をだまして自分だけ良い思いをしようとしていると思ったから。
- エ 兔が猿と狐をおどして手柄を独り占めしようとしていると思ったから。

問四 〳〵線③「よろづの人」の意味を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 昔の人
- イ 語り継ぐ人
- ウ 選ばれた人
- エ さまざまな人

問五 空欄 **X** には共通した漢字一字が入る。本文中から抜き出して答えなさい。

問六 — 線④「この兎のこと」とは、どのような兎のことですか。次の文章の空欄 (i) (ii) にあてはまる語句を、それぞれ本文中から三字で抜き出して答えなさい。

翁に (i) を捧げるために (ii) に飛び込んだ兎のこと。

問七 「天帝釈」の考えとして最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 兎の行動を危険なものとし、この世に生きるものに忠告したい。
- イ 兎の行動を尊いものとし、この世に生きるものに広く伝えたい。
- ウ 兎の行動を模範として示し、争いの世に生きるものの心を正したい。
- エ 兎の行動を善いものとし、争いの世に生きるものの心を癒やしたい。

令和6.1.19実施

精華女子高等学校 専願入学試験問題

数 学

看 護 科

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 円周率は π で表します。
7. 答えに無理数が含まれるときは $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい整数とします。

受 験 番 号	氏 名
番	

1

次の問いに答えなさい。

- (1) $(-7)^2 - (-3^2) - 5$ を計算しなさい。
- (2) $\left(\frac{5}{2} - 0.5\right) \div \frac{5}{6} \times \frac{5}{3}$ を計算しなさい。
- (3) $3a^2b \times \frac{7}{6}ab \div \frac{a^2b^2}{14}$ を計算しなさい。
- (4) $3\sqrt{15} \times 2\sqrt{3} \div \sqrt{10}$ を計算しなさい。
- (5) 一次方程式 $5x + 8(10 - x) = 62$ を解きなさい。
- (6) 二次方程式 $x^2 + ax - 10 = 0$ の解の1つが2であるとき、 a の値を求めなさい。
- (7) 関数 $y = 2x^2$ について、 x の変域が $-2 \leq x \leq 1$ のときの y の変域を求めなさい。
- (8) 1つのさいころを投げるとき、素数の目が出る確率を求めなさい。
- (9) 正 n 角形の内角の和は 2520° です。 n の値を求めなさい。
- (10) 半径 6 cm 、弧の長さが $8\pi\text{ cm}$ であるおうぎ形の中心角の大きさを求めなさい。

2

右の表は、ある中学校の生徒 40 人について通学時間を調べ、度数分布表にまとめたものです。通学時間の平均値は 16 分です。次の問いに答えなさい。

階級(分)	階級値	度数(人)	相対度数	階級値×度数
0 以上 5 未満	2.5	0	0.000	0.0
5 ~ 10	7.5	2	0.050	15.0
10 ~ 15	12.5	18	0.450	225.0
15 ~ 20	17.5	(イ)	0.250	175.0
20 ~ 25	(ア)	5	0.125	112.5
25 ~ 30	27.5	3	0.075	(ウ)
30 ~ 35	32.5	1	0.025	32.5
35 ~ 40	37.5	1	0.025	37.5
計		40	1.000	680.0

- (1) 上の表について、空欄 (ア) ~ (ウ) にあてはまる数を答えなさい。
- (2) 通学時間が 20 分未満の生徒は、通学時間を調べた生徒 40 人の何%か答えなさい。
- (3) 第 1 四分位数を含む階級を答えなさい。
- (4) 度数分布表から求められる平均値の近似値を答えなさい。ただし、近似値とは真の値に対して、真の値ではないがそれに近い値のことです。
- (5) (4)で求めた平均値の近似値から通学時間の平均値 16 分を引いた差のことを誤差といいます。度数分布表の階級の幅を 5 から 10 に変えてまとめ、同様に平均値の近似値を求めるとどうなりますか。次の①~③から 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ① 一般に、階級の幅を大きくすると、誤差は大きくなる。
- ② 一般に、階級の幅を大きくすると、誤差は小さくなる。
- ③ 一般に、階級の幅を大きくしても、誤差は変わらない。

3

東さんと西さんは、完成した製品を点検する仕事を工場ですべてしています。1時間に製品を点検できる個数は、東さんが a 個、西さんが b 個です。ある日、東さんと西さんがそれぞれ240個の製品を点検したところ、東さんは3時間、西さんは4時間かかりました。東さんと西さんの作業効率はそれぞれ常に一定で、この工場の勤務時間は、1日に8時間とします。次の問いに答えなさい。

- (1) 東さんと西さんが1時間に点検できる製品の個数を、それぞれ求めなさい。

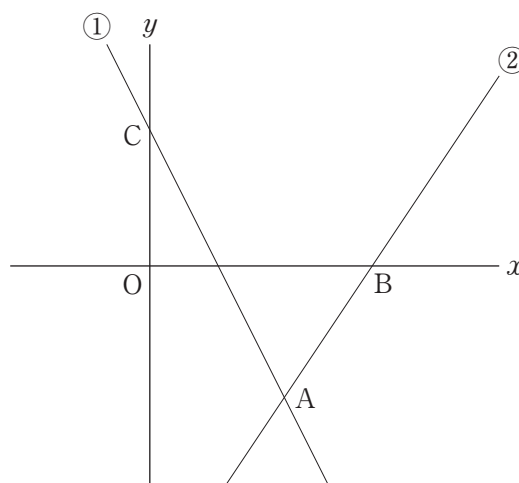
- (2) 西さんがちょうど2日の勤務時間で点検できる製品の個数と同じ個数を、東さんが点検します。東さんは、何日と何時間勤務しますか。

- (3) 東さんと西さんは6000個の製品を2人で点検することになりました。2人で作業を始めましたが、西さんは作業を始めた翌日から2日間仕事を休みました。2人で作業を始めてから何日目に点検が終わりましたか。

- (4) 東さんと西さんが合計100時間作業をしたところ、点検した製品のうち213個が不良品でした。不良品は、点検した製品全体の3%にあたります。このとき、東さんが作業をしたのは100時間のうち何時間か求めなさい。

4

右の図のように、2つの関数 $y = -2x + 3 \cdots \textcircled{1}$, $y = ax + b \cdots \textcircled{2}$ のグラフがあり、 $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ のグラフの交点を A とします。点 A の x 座標は 3 であり、 $\textcircled{2}$ のグラフは点 $B(5, 0)$ を通ります。また、 $\textcircled{1}$ のグラフと y 軸との交点を C とします。



次の問いに答えなさい。

- (1) 点 A の座標を求めなさい。

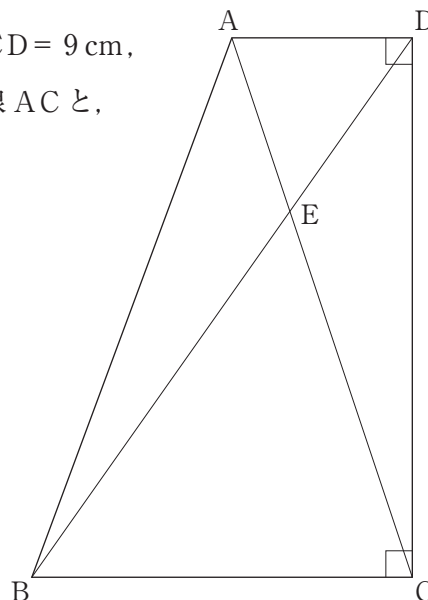
- (2) a , b の値をそれぞれ求めなさい。

- (3) $\textcircled{2}$ のグラフと y 軸との交点を D とします。このとき、三角形 ACD の面積を求めなさい。

- (4) 直線 $x = k$ を $\textcircled{3}$ とします。 $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$, $\textcircled{3}$ のグラフで作られる三角形の面積が 63 になるとき、 k の値を求めなさい。ただし、 $k < 3$ とします。

5

右の図のように、 $\angle ADC = \angle BCD = 90^\circ$ 、 $AD = 3\text{ cm}$ 、 $CD = 9\text{ cm}$ 、 $BC = 6\text{ cm}$ の台形 $ABCD$ があります。この台形の対角線 AC と、対角線 BD の交点を E とします。
次の問いに答えなさい。



- (1) $\angle DAE = 71^\circ$ 、 $\angle EBC = 56^\circ$ のとき、 $\angle AED$ の大きさを求めなさい。
- (2) 右の図で $\triangle AED \sim \triangle CEB$ であることを次のように証明します。

証明

$\triangle AED$ と $\triangle CEB$ において、
対頂角は等しいので、 …①
 $AD \parallel BC$ より、は等しいので、 $\angle ADE = \angle CBE$ …②
よって、①、②より、ので、
 $\triangle AED \sim \triangle CEB$ である。

上の証明について、空欄～にあてはまるものを答え、証明を完成させなさい。ただし、(ウ)は次のA～Cから相似の条件を1つ選び、記号で答えなさい。

- A. 2組の辺がそれぞれ等しい
- B. 1組の辺の比とその両端の角がそれぞれ等しい
- C. 2組の角がそれぞれ等しい

- (3) 辺 DC を軸として、台形 $ABCD$ を回転させてできる立体の体積を求めなさい。

令和6.1.19実施

精華女子高等学校 専願入学試験問題

英 語

看 護 科

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。

受 験 番 号	氏 名
番	

1 次の会話は生徒 (Student) が先生 (Teacher) に進路相談をしているときのものです。次の (A) ~ (E) に入る最も適切なものをア~オからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- T : Hello, what can I help you with today?
S : Hi, I want to talk about my future job.
T : Of course. What do you want to do in the future?
S : (A) There are too many kinds of jobs.
T : Don't worry, it is not bad that you can't decide.
S : Thank you, but some of my friends have already found their dreams.
T : I see. Then, do you have anything you like to do?
S : (B) I often go out with my camera and take pictures.
T : That's great! How about becoming a cameraman?
S : Hmm, but to be a *professional photographer is very difficult.
T : Yeah, but you can find jobs *related to photos.
S : (C)
T : I believe *photo editors and designers would also be good for you.
S : I see. I should have a wider *viewpoint.
T : Exactly! (D)
S : My uncle works for a camera studio, so I'll ask him.
T : That's wonderful. (E)

(注) professional photographer : プロの写真家 related to ~ : ~に関係する
photo editor : 写真編集者 viewpoint : 視点

- ア What do you mean?
イ Actually, I'm not sure.
ウ Why don't you ask people around you?
エ I love taking photos.
オ You'll learn a lot from him.

2 次の1～3について、()に入る最も適切なものをア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

1. You should wash your hands carefully () meals.

ア until

イ before

ウ because

2. I was () a baseball game last night.

ア watch

イ watched

ウ watching

3. Could you ()?

ア show your textbook me

イ me show your textbook

ウ show me your textbook

3 以下の会話文を読んで、次の①～④の()内の語句を並べかえなさい。

A : Hey, do you have any pets?

B : Yeah, I have a cat named Tama. She's ①(been / for / me / with) five years.

A : That's cool. I've always wanted a pet, but my parents won't let me.

B : Why not?

A : They say having a pet is a lot of work and they are ②(busy / take / to / too) care of a pet.

B : I see. But it will be a good experience.

A : I can imagine. What do you do for her?

B : Well, I ③(feed / have / her / to) twice a day.

A : Yeah, ④(a lot / it / like / sounds) of work, but you can learn many things.

- 4** 次の文は「朝食の重要性」について述べたものです。[A] ～ [E] に入る最も適切なものをア～オからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

The Power of Breakfast

Breakfast is often said to be the most important meal of the day. Eating breakfast has good points on our bodies and minds. It gives us energy for the day and reduces the risk of *chronic diseases.

When we sleep, we use up the energy in our body. When we wake up in the morning, our *blood sugar levels are low, and [A]. Eating breakfast can provide us with the necessary energy for daily activities and wake up our brains. In addition to providing energy, breakfast can improve memory and attention. This is very important for students [B].

Also, [C]. Usually, people who eat breakfast every day are healthier than people who do not. This is because breakfast can [D] and *prevent some chronic diseases such as heart disease and *diabetes.

In conclusion, eating breakfast is very important for us to have an active and healthy life. If you often skip breakfast, [E].

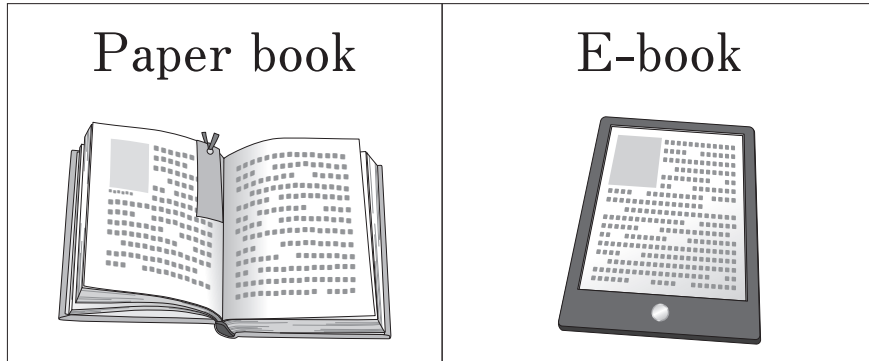
(注) chronic diseases : 慢性的な病気 blood sugar levels : 血糖値 prevent : ～を防ぐ
diabetes : 糖尿病

- ア help us control blood sugar levels
- イ when they study at school
- ウ you may miss a good chance to make your life better
- エ eating breakfast is good for our health
- オ we need to take energy to be active

5

次の各問いに答えなさい。

1. あなたは友人と、紙の本と電子図書について話しています。下の会話を参考に、 に当てはまる英語を書きなさい。ただし、語数はそれぞれ5語以上とする。



You : I bought a tablet and started reading e-books.

Your friend : Oh, really? How is it? Which do you like better, paper books or e-books?

You : .

Your friend : Why do you think so?

You : Because .

Your friend : I see. You said your bag was too heavy because of many books.

You : Yeah. Now it is very light and convenient.

2. 次の会話で下線が引かれている箇所を英語に訳しなさい。ただし、語数はそれぞれ10語以内とする。

A : おはよう。朝から暗い顔をしてどうしたの。

B : おはよう。① 母さんがもっと勉強するようにって言うんだ。

A : 私もだよ。受験生だし仕方ないかもね。

B : そうだね。君はどのくらい勉強してるの。

A : ② 毎日2時間勉強してるよ。

B : 頑張ってるね。僕も頑張らないといけないな。

6

次の英文を読んで、各問いに答えなさい。

Emma and An Old Man

Once upon a time, there was a small fish named Emma who lived in a beautiful pond in a small village. Emma enjoyed swimming and playing with her fish friends every day.

(a), an old fisherman arrived at the pond. He was very famous for his skill in catching fish. Emma and her friends were afraid of being caught by him, but the old man started *casting a net into the pond. Emma and her friends tried to *avoid the net, but she was *trapped with some of her friends. They were all scared and didn't know what to do. ①

As the old fisherman pulled in the net, he found Emma caught in the net. He looked at the small fish and saw the *fear in her eyes. Then, (②). He carefully took Emma out from the net and put her back into the pond.

(b), Emma and the old fisherman became friends. The fisherman visited the pond every day to watch Emma. Emma often swam up to the *surface of the water to greet him with her small *fins.

(c), the old fisherman got old and stopped fishing. He spent most of his days by the pond. He enjoyed watching the fish and listening to the sound of the water. Emma always stayed close to the man and showed her *appreciation every day.

Some years later, the old fisherman died. Emma felt very sad, but she never forgot the kindness that he showed her.

(注) cast : 投げ入れる avoid : ~を避ける trap : (罟など) にかける fear : 恐れ, 恐怖
 surface : 水面 fin : (魚の) ひれ appreciation : 感謝

1. (a) ~ (c) に入る最も適切なものを次のア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア As time passed	イ One day	ウ From that day
------------------	-----------	-----------------

2. 下線部①を解答欄に示されている日本語に合うように訳しなさい。

3. (②) に入る最も適切なものを次のア～ウから1つを選び、記号で答えなさい。

- ア he went home soon
- イ he had an idea
- ウ Emma was able to get away from the net

4. 本文の内容に合うものを次のア～オから2つを選び、記号で答えなさい。

- ア 老人は魚を捕るのがとても上手だった。
- イ エマは老人に捕まって食べられた。
- ウ 老人はエマのことが好きだったが、エマは老人を嫌っていた。
- エ エマは老人が亡くなったことを知ることはなかった。
- オ エマは老人と彼の優しさを決して忘れはしなかった。

5. 次の会話は本文を読んだ生徒Aと生徒Bによるものである。次の (①) (②) に入る最も適切なものをア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- A : It was a good story, wasn't it?
- B : Yes, it was. But I have a question.
- A : What is it?
- B : Why did the old man *release Emma into the pond?
- A : That's a great question. I thought the same thing. (①)
- B : Maybe he felt sorry for Emma.
- A : Yeah. I thought he knew the *value of life.
- B : The value of life... It sounds a little difficult to me.
- A : It is a good chance to think about it.
- B : Yeah. But I want to (②).
- A : Of course, it is also an important thing. Let's ask others.

(注) release : ～を逃がす value of life : 命の価値

① : ア You're right. イ I didn't think so. ウ What's your opinion?

② : ア think by myself イ hear others' opinions ウ forget it